成瀬記念講堂
～機器操作マニュアル～

１．機器の配置図 ・・・・・・2

２．マイクの使用法 ・・・・・・3

３．映像をプロジェクタ(スクリーン)に映す ・・・・・・4
（1）DVD,VHSで映す
（2）PC:パソコンの場合
（3）外部機器接続の場合

４．音楽を流す ・・・・・・8

５．録音する ・・・・・・9
（1）カセットに録音
（2）ICレコーダーに録音

６.後方カメラの利用について ・・・・・・11
（1）カメラの操作と利用方法
（2）HDD、DVD、miniDV に録画する

７． 参考 ・・・・・・14
スポットライトについて
大きいスクリーンについて
その他、問い合わせに関して

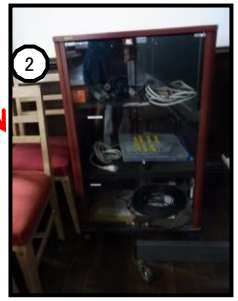
1.機器の配置図

1F フロア図

ステージ上からの接続口

スクリーン

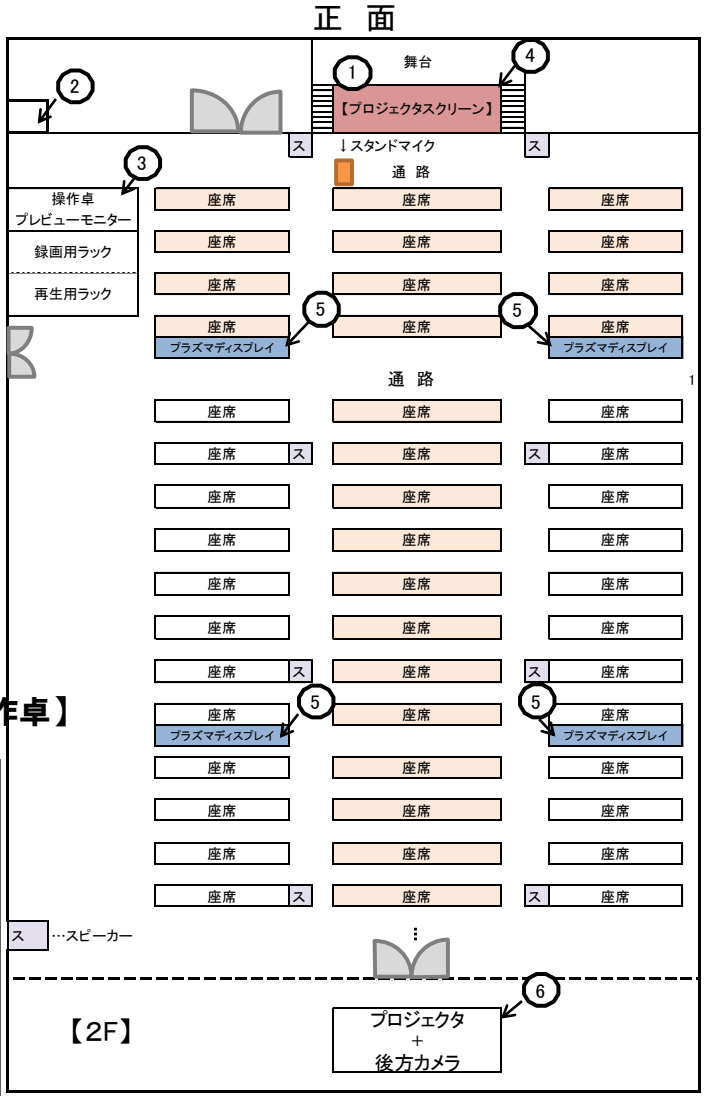
※
全てのリモコンおよび交換電停は、マイク収納ラックに保管されています。

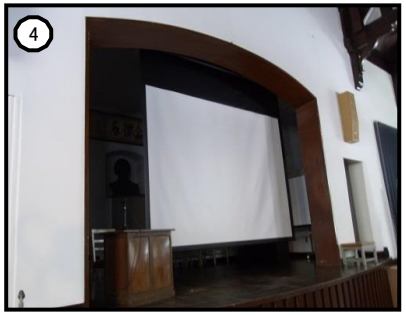


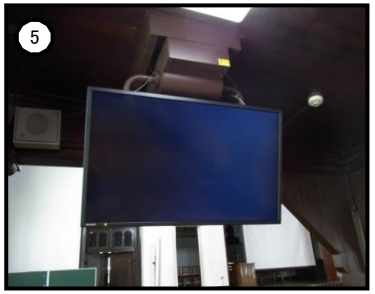
【再生用ラック】

【プレビューモニター＆操作卓】

【録画用ラック】







2.マイクの使用法

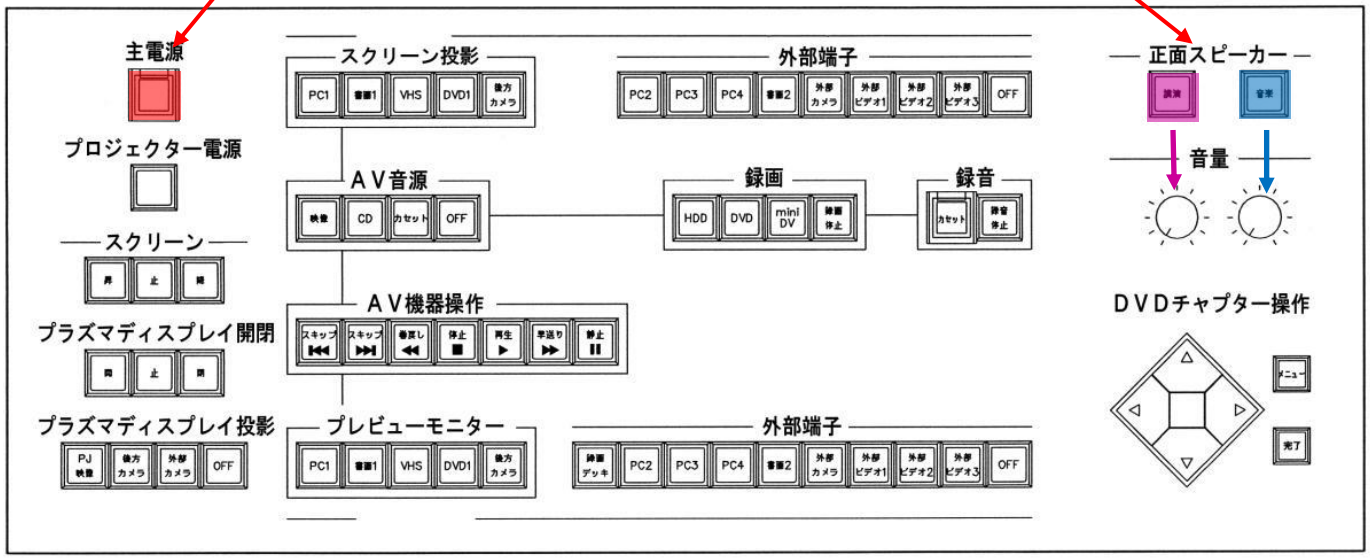
（マイクの数と保管場所）

有線マイク 2本と無線マイク（ハンドマイク 4個とピンマイク1個）5個用意しています。
有線マイクは檀上と檀上下にセットしています。
無線マイクは下手（配置図②）のマイク収納ラックにあります。

（マイクの使用方法）

1）[主電源]ボタンを押した後、
マイクの電源を入れる

2）スピーカーを選択。
[講演]ボタン（前方スピーカー）
[音楽]ボタン（四方スピーカー）



同じ周波数
同時利用不可

	無線周波数/Hz（デフォルト値）			
ハンドマイク	46	42	43	44
ピンマイク	46			

【ワイヤレスマイクとピンマイク電源位置】

3.映像をプロジェクタ(スクリーン)に映す

※ 全てのリモコンは、マイク収納ラック(配置図②）に保管されています。

（設置場所）　(1) DVD,VHS機器

備え付けのDVDおよびVHS機器は、檀上向い左側の再生用ラック内(配置図③)にあります。

（操作方法）

【再生用ラック】

1)［主電源］ボタンを押す
※再生用および録画用ラックは、
［主電源］ボタンと共に連動します。

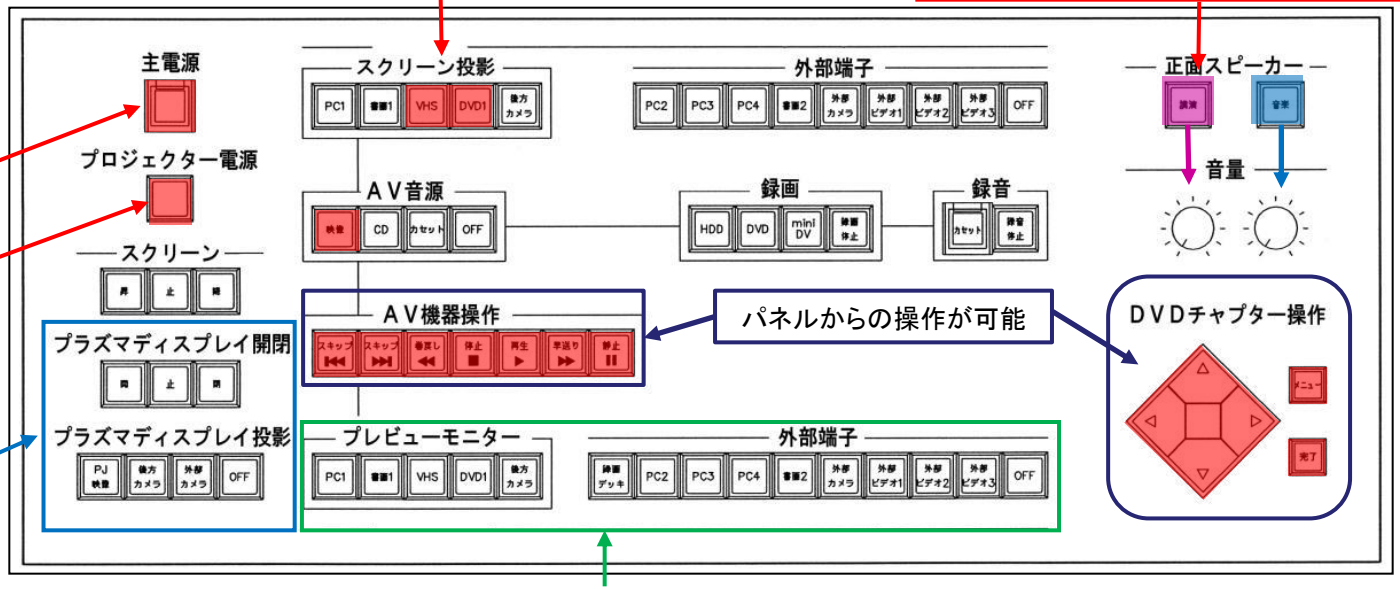
2) ［プロジェクタ］ボタンを押す
※自動的にスクリーンが下がります。

3)映し出したい機器（DVD or VHSの機器）のメディアを入れて準備します。

etc)
プラズマディスプレイにも同じ映像を映す場合は、「開」ボタンを押し、「PJ映像」のボタンを押す

4)映したいメディアを選択
VHSは、自動的に再生が開始されます。
DVDは「MENU」があるので操作パネル左下の［DVDチャプター操作］、またはリモコンでチャプターを選択して再生して下さい。

5) スピーカーを選択。
［講演］ボタン（前方スピーカー）
［音楽］ボタン（四方スピーカー）



※ プレビューモニターにも投影できます。スクリーンと別の画像と選択する事も可能

3.映像をプロジェクタ(スクリーン)に映す

（2）PC：パソコンの場合

※ 必要があれば、音声ケーブルを接続して下さい。

①機器接続口

PCの接続口を3か所用意しています。利用される場所に一番近い所に接続して下さい。

ステージ上からの接続

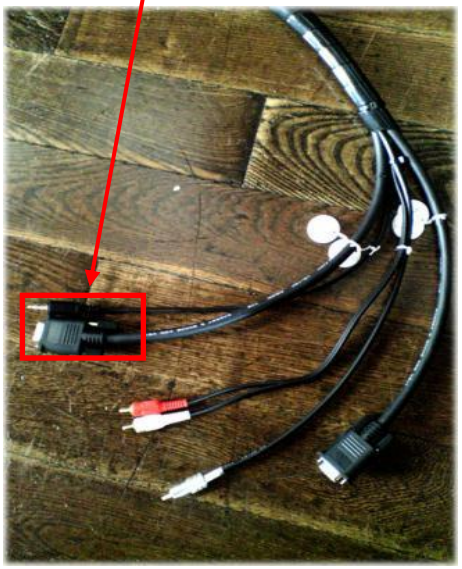
操作卓

PC1

ステージ下からの接続

操作卓

PC2



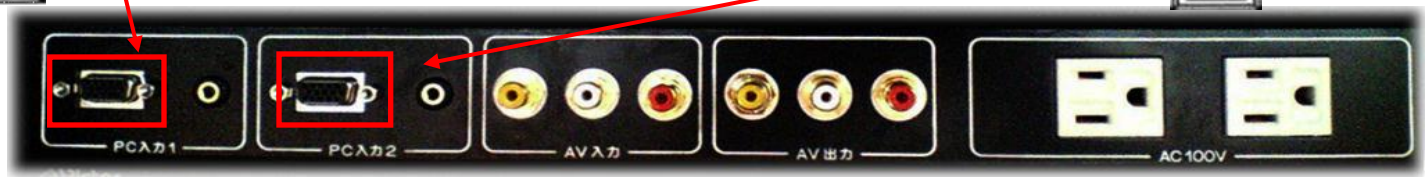
操作卓

PC3

録画用ラックからの接続

操作卓

PC4

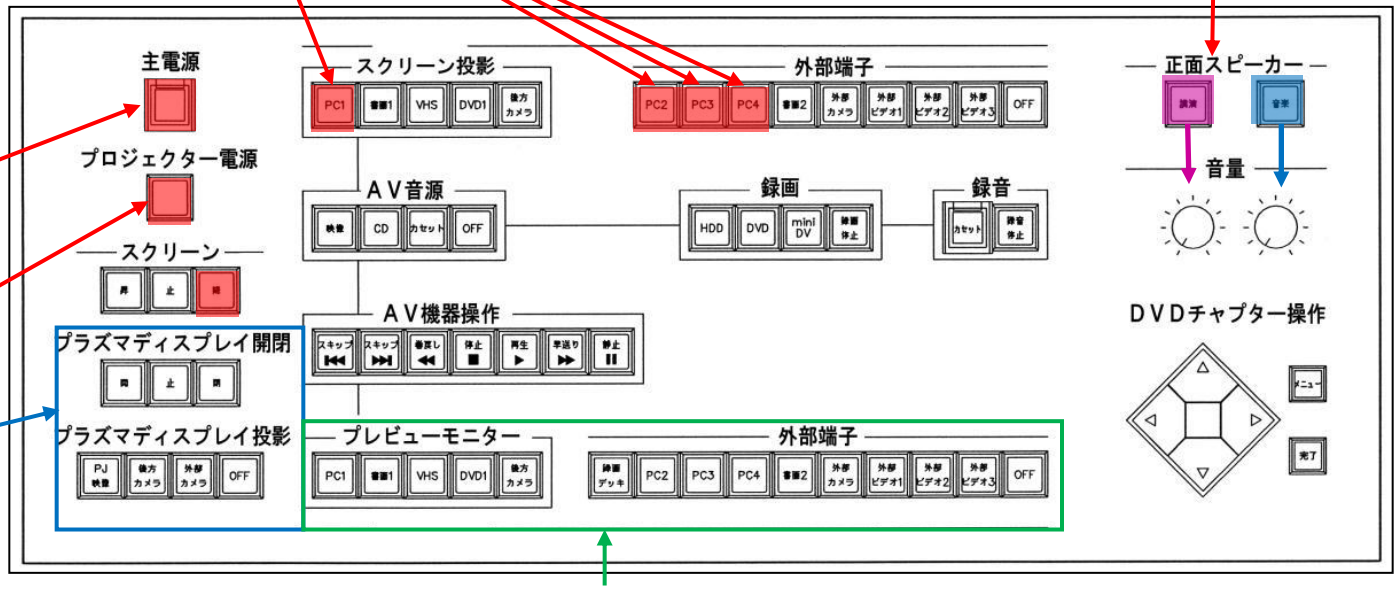


※ケーブルは、マイクが保管されている檀上向い左側のラック内にあります

②操作方法

3)接続した接続口のボタン(PC1,2,3,4)を選択

4) スピーカーを選択。
[講演]ボタン(前方スピーカー)
[音楽]ボタン(四方スピーカー)



1)[主電源]ボタンを押す
※再生用および録画用ラックは、
[主電源]ボタンと共に連動します。

2) [プロジェクタ]ボタンを押す
※自動的にスクリーンが下がります。

etc)
プラズマディスプレイにも同じ映像を映す場合は、「開」ボタンを押し、「PJ映像」のボタンを押す

※ プレビューモニターにも投影できます。スクリーンと別の画像と選択する事も可能

3.映像をプロジェクタ(スクリーン)に映す

（3）外部機器接続の場合

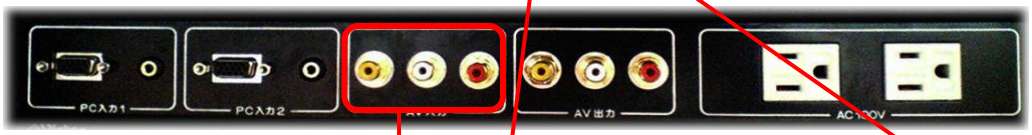
ステージ上からの接続

ステージ下からの接続

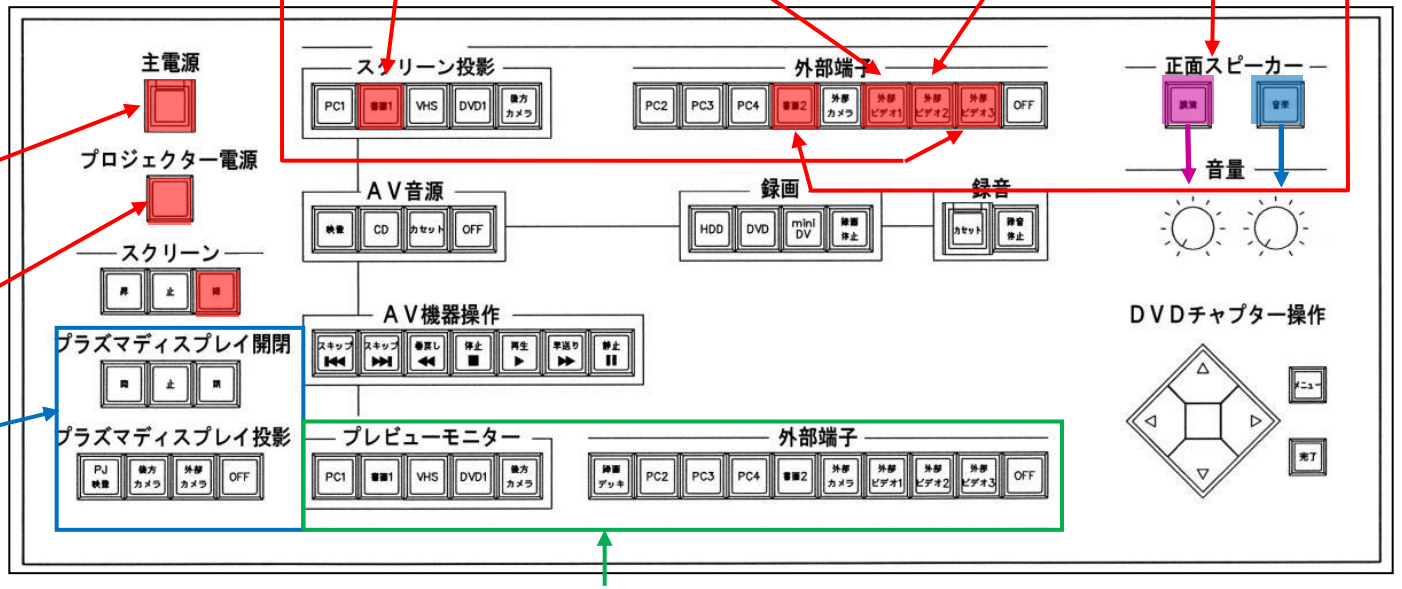
機器接続口

RCA**端子（黄白赤）は**
AV**入力となります。**
Blu-ray**などの**AV**機器を**
接続して下さい。

書画カメラはRGB
ケーブルとなります。
書画以外のRGB**系統も**
接続可能となります。



4）スピーカーを選択。
［講演］ボタン（前方スピーカー）
［音楽］ボタン（四方スピーカー）



1）［主電源］ボタンを押す
※再生用および録画用ラックは、
［主電源］ボタンと共に連動します。

2）［プロジェクタ］ボタンを押す
※自動的にスクリーンが下がります。

etc）
プラズマディスプレイにも同じ映像を映す場合は、「開」ボタンを押し、「PJ映像」のボタンを押す

※ プレビューモニターにも投影できます。スクリーンと別の画像と選択する事も可能

4.音楽を流す　CD,テープ機器(カセット)

（設置場所）

備え付けのCDおよびテープデッキ機器は、檀上向い左側の
再生用ラック内および録画用ラック内にあります。

【再生用ラック】

【録画用ラック】

※ BGMとして再生する場合には、四方からのスピーカーを使用する［音楽］ボタンを選択がベストです。

4) スピーカーを選択。
［講演］ボタン（前方スピーカー）
［音楽］ボタン（四方スピーカー）

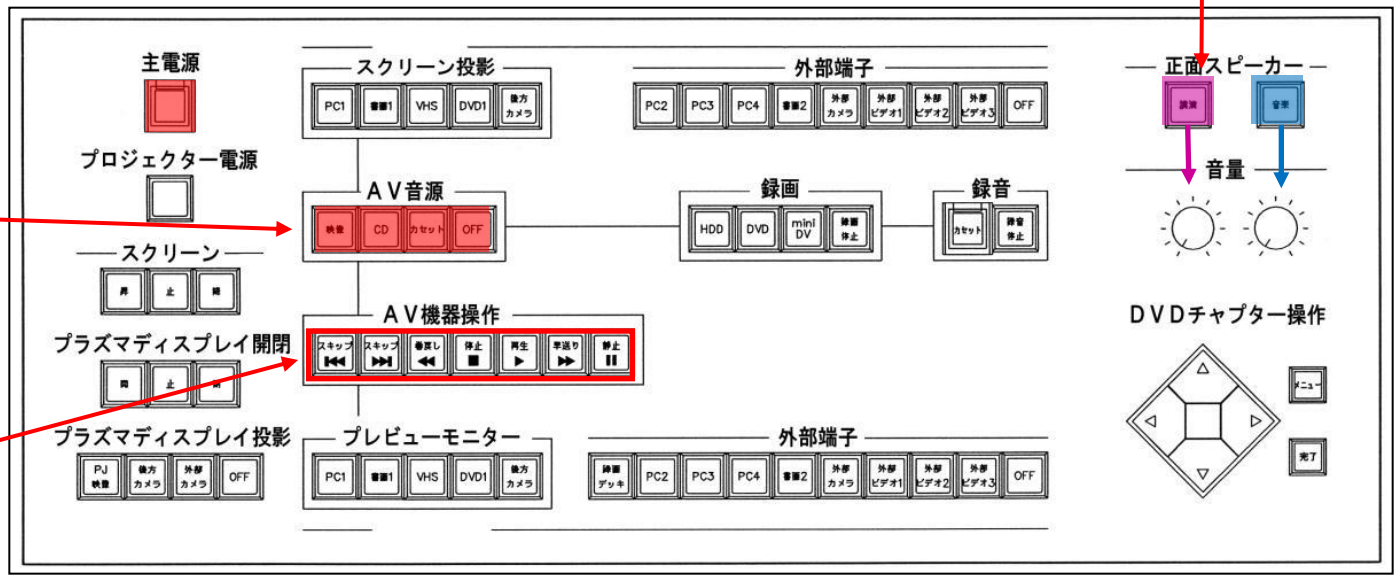
（操作方法）

1)［主電源］ボタンを押す
※再生用および録画用ラックは、
［主電源］ボタンと共に連動します。

2)AV音源のボタン
（CD or カセット）を選択

3) CD又は、録画用ラックのテープデッキのAにメディアを入れて準備をします。

操作は、デッキまたは、リモコンで操作して下さい。AV機器操作ボタンは、テープのみ有効です。



5.録音する　(1) カセットに録音

※ マイクおよびAV音源の音声を録音できます

（設置場所）

備え付けのテープデッキ機器は、録画用ラック内にあります。

（操作方法）

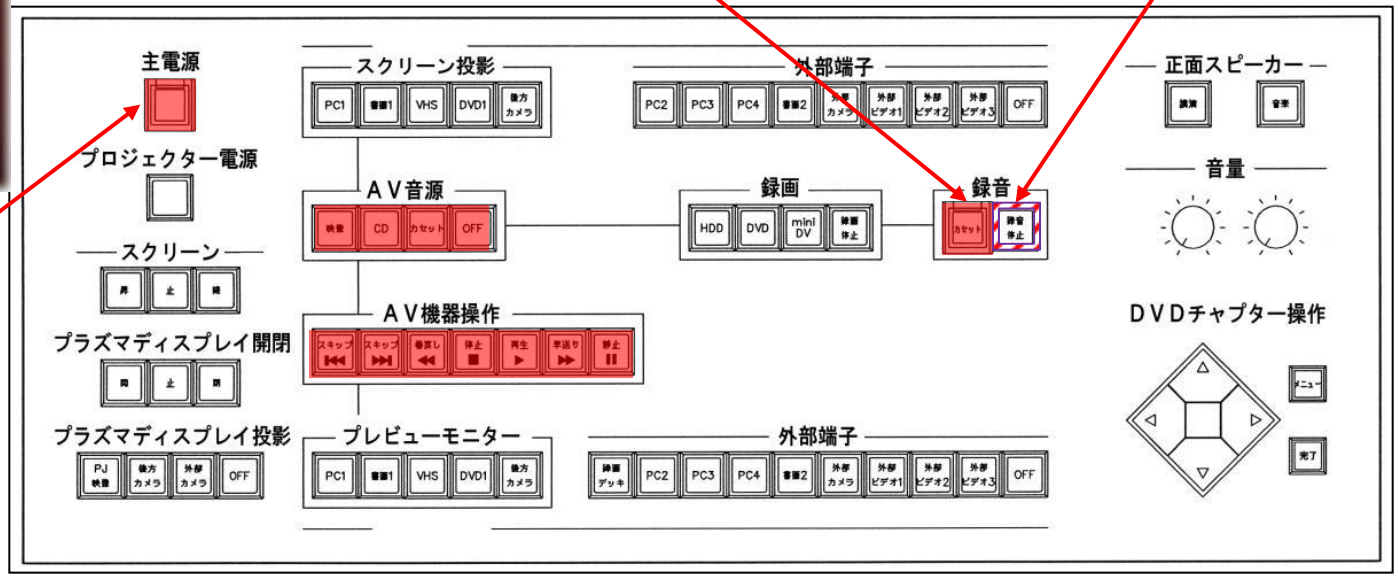
【録画用ラック】

1)［主電源］ボタンを押す
※再生用および録画用ラックは、
［主電源］ボタンと共に連動します。

2)電源を入れ、録画用ラックのテープデッキのBにメディアを入れて準備をします。

3) ［録音］ボタンを押す
（録音スタート）

4) ［録音停止］ボタンを押す
（録音停止）



5.録音する　(2) ICレコーダで録音する

※ マイクおよびAV音源の音声を録音できます

（設置場所）

再生用ラックの後方カメラコントローラー右下から出ている音声ケーブルを利用

（操作方法）

1）後方カメラコントローラー右下から出ている音声ケーブルを下図のようにお手持ちのICレコーダーにつなげます。マイクおよびAV音源の音声を録音することが可能です。

2）基本操作はICレコーダー本体から行ないます。

6.後方カメラの利用について　(1)カメラの操作と利用方法

（設置場所）

檀上撮影用に、後方カメラが2階席後部に設定されています。
カメラを操作するコントローラは、再生用ラック内にあります。

【録画用ラック】

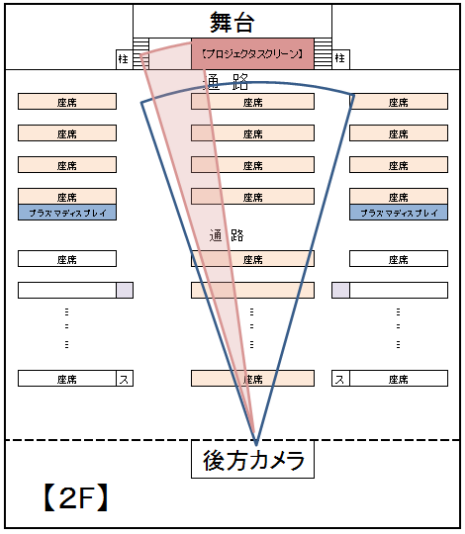
（操作方法）

自動

① [AUTO]ボタンを押してロックを解除します。
② [POSITION]ボタンを押して、[0] or [1] or [2]…　＋ [ENTER]でポジションにカメラが移動します。

[０]キー	講堂前方	[３]キー	講堂全体
[１]キー	ステージ全体	[４]キー	ステージ中央アップ
[２]キー	ステージ左側アップ（演台に立つ人中心に）		

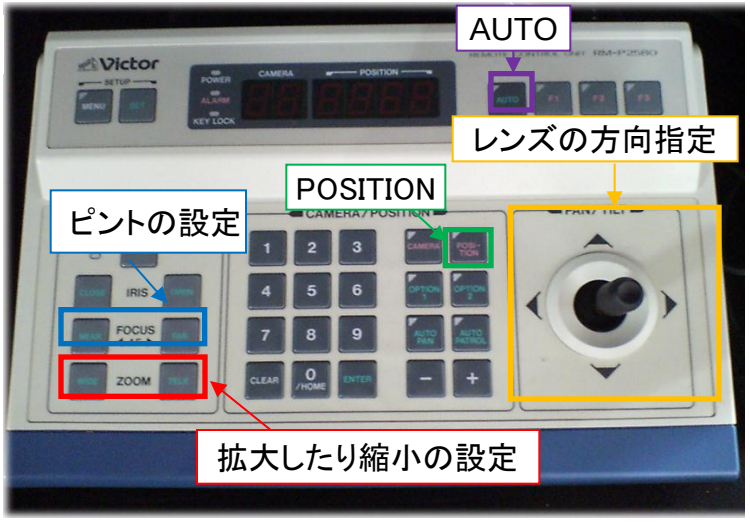
【カメラポジション】



【コントローラ】

手動

① [AUTO]ボタンを押してロックを解除して右下の十字キーで操作します。



6.後方カメラの利用について　(2)HDD、DVD、miniDV に録画する

（設置場所）

カメラの操作利用は、11ページ参照。備え付けの(HDD、DVD、miniDV）機器は、録画用ラック内にあります。

（操作方法）

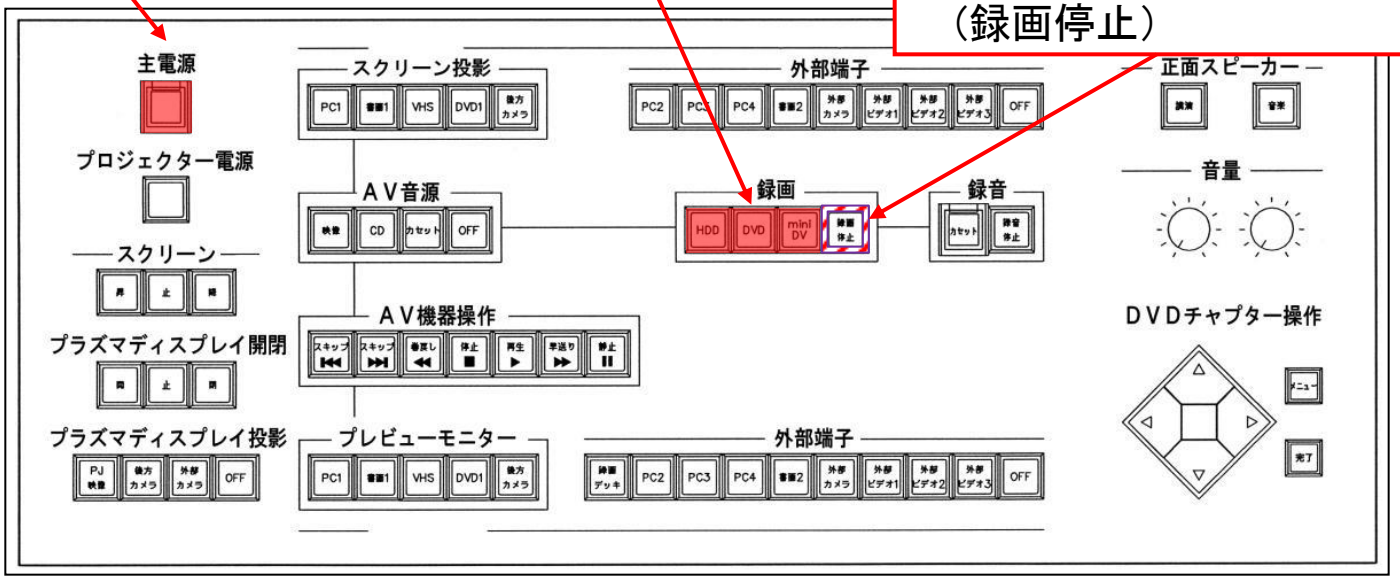
2）.HDDに録画する場合、内臓HDDの為メディアは不要です。DVD、miniDVの場合は、メディアを挿入して下さい。

1）[主電源]ボタンを押す

3）[録画]ボタンでメディアを選択
（録画スタート）

4）[録画停止]ボタンを押す
（録画停止）

【録画用ラック】



※ダビングの方法については、リモコン収納BOX(配置図②）に保管されている「Victor SR-DVM700マニュアルをご参照下さい。次頁ではDVDの録画方法について説明します。

6.後方カメラの利用について

(2)HDD、DVD、miniDV に録画する(続き)

【DVDで録画の場合】

1)メディアを挿入した後に録画モードを選択
(取扱説明書P31を参照)
XP : 1時間
SP : 2時間
LP : 4時間
EP : 6時間
FR : ～8時間まで任意の時間に設定

2)操作パネルの録画ボタンを押してスタートし、
録画停止ボタンを押した後にもう一度停止ボタンを押すことで録画を完全に終了します

3)他のデッキで再生させるためにファイナライズを行います
(取扱説明書P42,43を参照)
メディアを入れたままリモコンから[ファイナライズ]のボタンを押して、
処理が完了するまでお待ちください

※ HDDで録画した映像をDVDにダビングの場合は使用説明書P32,33を参照してください

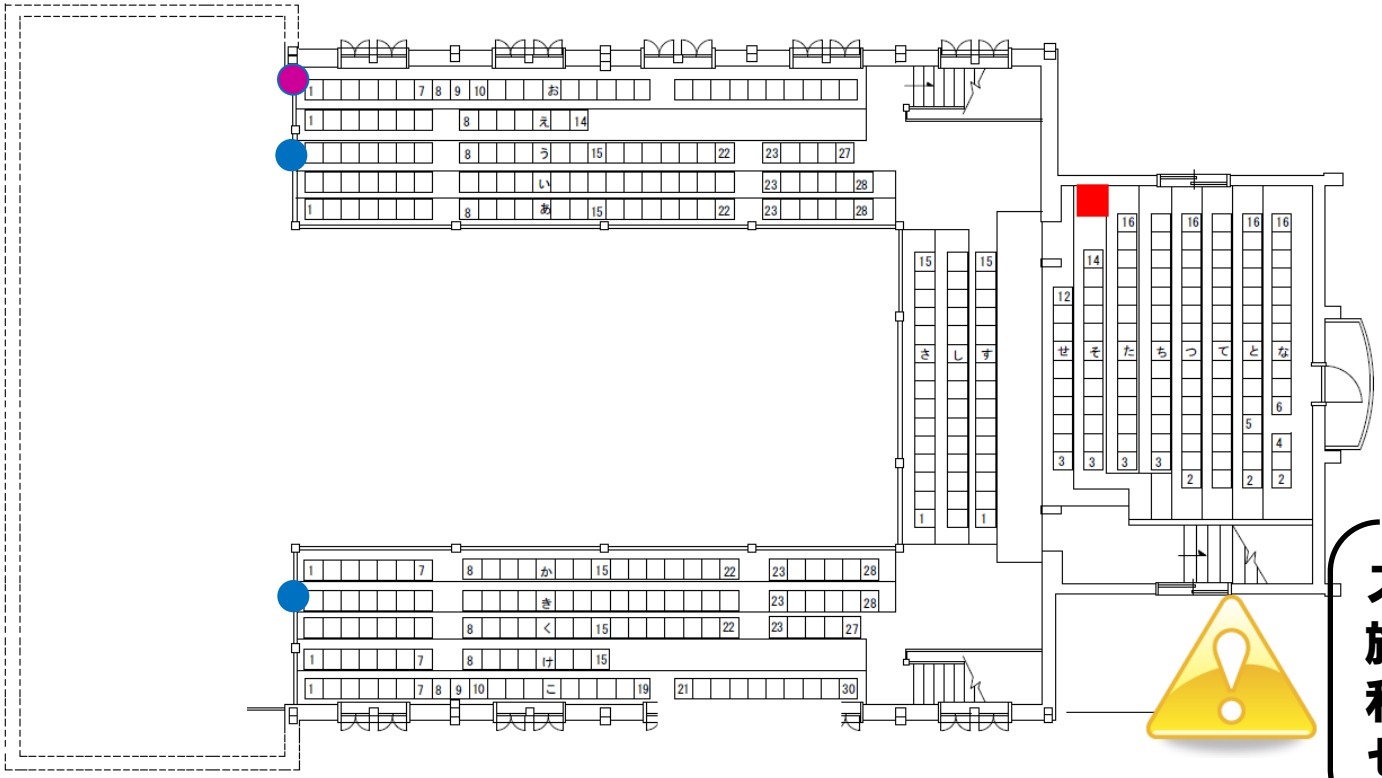
スポットライトについて

固定スポットライトは、3つ用意しています。配置は以下のとおりです。

● 500W　　● 750W

予備のスポットライトを3台用意しています。 ■ に収納してあります。
予備のスポットライトが必要な場合、各自で出して所定の位置に設置し、
近くの電源コンセントにさしご利用下さい。1000/300W**切替可能です。**

2F **フロア図**



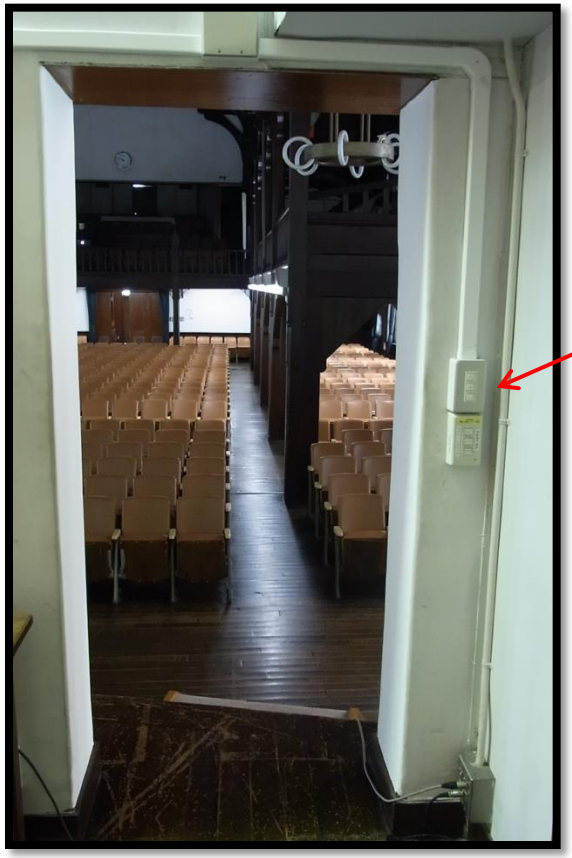
【収納場所】

スポットライトは、
施錠してありますので、
利用の際は事前にメディア
センターへご相談下さい。

大きいスクリーンについて

1ページの(配置図④) のスクリーンのほかに、もう一枚スクーリンを用意しています。但しこのスクリーンは、映像を投影した際、画面いっぱいに画像は表示できません。
画面アスペクト比は、④のスクリーンと同様です。

この大きなスクリーンの上げ下ろしのスイッチは、ステージ上からあります。



クローズアップ

作　成：　メディアセンター
ＴＥＬ：　03-5981-3169
内　線：　3169